



河原地区人推協だより



河原地区人権啓発推進協議会（河原地区公民館内） ☎85-2959 / 島85-2970

【令和5年度小地域懇談会を終えて】

河原地区人権啓発推進協議会 会長 小谷 加代子

元旦に能登半島地震、2日には飛行機事故と目を覆いたくなるような出来事から始まった2024年、みなさんはお元気で新年を迎えられましたでしょうか？ 被害が無かったことに安堵し、被災地の皆さんの無事を願いました。

昨年は、4月に子ども家庭庁が創設され、こども基本法が施行され、各自治体でも施策の取り組みが始まっています。

小地域懇談会も、子どもの人権をテーマとし、10月8日から11月25日までの間、各部落で開催しました。

学習内容は、人権啓発DVD「どう防ぐ？児童虐待」～体罰は必要なのか～を視聴し、意見交換とアンケートの記入をしていただきました。

参加された方は、自分を見つめなおす機会になったのではないのでしょうか。

人権は私たちの生活に欠かせないものです。人権が守られる地域・社会は安心して暮らすことができます。年1回の小地域懇談会に、一人でも多くの方に参加していただき、人権について考える機会にさせていただきたいと思えます。



【令和5年度小地域懇談会実施報告】

今年度も河原地区内の10部落で小地域懇談会を実施しました。開催日時についてはなるべく希望にそえるよう事前に各部落にアンケートを行いました。

河原地区人権啓発推進協議会ではより多くの方の参加を促すことを目標とし、誰でも気軽に参加していただける会を目指しています。

今年度は社会問題として取り上げられている「児童虐待」をテーマとしたDVD「どう防ぐ？児童虐待」～体罰は必要なのか～を視聴し、学習しました。学習後は話し合いをして頂き、最後にアンケートに記入してもらい終了としました。

各部落の部落長さんそして推進委員さんのご協力のおかげで102名（昨年度より9名増）の参加者となりました。心よりお礼申し上げます。

今後も多くの住民の方に参加いただけるよう工夫していきたいと思えますので、引き続きご協力をお願いいたします。



令和5年度 河原地区小地域懇談会実施状況

実施日	部落名	R4年度参加者	R5年度参加者
10月8日	袋河原	20	16
10月19日	上渡一木	11	6
10月21日	稲常	8	6
10月22日	谷一木	7	17
10月25日	長瀬	8	14
10月29日	河原	5	6
11月5日	鮎ヶ丘	10	16
11月11日	下渡一木	8	6
11月19日	夢ヶ丘	5	4
11月25日	布袋	11	11
	合計	93	102



令和5年度 小地域懇談会アンケート集計結果

小地域懇談会後のアンケートにご協力をいただきありがとうございました

質問内容	回答	R4年度		R5年度	
		合計	割合	合計	割合
(1)性別	男	73	80%	55	59%
	女	13	14%	27	29%
	無回答	5	5%	11	12%
(2)年代	～20代	0	0%	2	2%
	30代	5	5%	3	3%
	40代	13	14%	11	12%
	50代	21	23%	14	15%
	60代	25	27%	34	37%
	70代	23	25%	24	26%
	80代～	2	2%	4	4%
	無回答	0	0%	1	1%
(3)内容	わかりやすかった	61	67%	63	68%
	わかりにくかった	6	7%	3	3%
	どちらともいえない	12	13%	18	19%
	無回答	4	4%	5	5%
(5)今後 取り上げ たい 内容	①同和問題	7	8%	2	2%
	②女性の人権問題	6	7%	5	5%
	③高齢者の人権問題	30	33%	18	19%
	④外国人の人権問題	5	5%	3	3%
	⑤障がいのある人の人権問題	25	27%	16	17%
	⑥子どもの人権問題	17	19%	8	9%
	⑦個人のプライバシー保護	14	15%	9	10%
	⑧病気にかかわる人の人権問題	18	20%	11	12%
	⑨その他	2	2%	4	4%
	無回答	7	8%	29	31%
回答数 合計				380	



回答者数 合計 91名 93名
 回答用紙なし 2名 9名

地域の皆さんから頂いた意見・感想

- 子どものイヤイヤ期にどうしても自分の怒りを抑えられず怒鳴ったり、叩いたりしてしまう事がありました。まず、親になる前には子どものうちから体罰について学ぶことはとても大切であると考えました。
- 体罰はよくないことは誰も理解できるが、経済的・精神的に追い込まれている親が増えてきていると思う。合わせて地域で相談や世話をしたり、されたりの関係も希薄になっていると思う。法整備で体罰を防ぐのは難しい。決められてるからピリピリしながら躱けるなど無理だと思う。
 スウェーデンは国全体で子育てする（親から引き離す）システムなので比較できないが、日本は家族主義なので、他の国の良いところを見習うべきですが、あまり参考にならないと思う。
- 子どものDVは見つかりにくくなっています。身体的であれば分かりやすいですが、精神的な事は見つけにくいです。子どもの表情・口調・態度など気をつけながら大人も声かけをしていく必要があると思いました。
- 子どもを大切に地域で育てましょう。

令和5年度河原地区公民館との共催事業

人権啓発教育事業『映画鑑賞会』

舞台劇「めぐみへの誓い」 6/14 (水) 参加者 14名

1977年11月、新潟市内で家族と平和に暮らしていたが、わずか13歳の横田めぐみさんが中学校の下校途中に行方不明になりました。彼女は海岸で北朝鮮工作員によって拉致されていたのです。暗い船倉で泣き叫ぶめぐみさん。その日を境に、彼女には北朝鮮でのつらくて苦しい生活が待ち受けていました。

私たちが知っておかなければならない拉致事件・問題をはじめて真っ向から描く。多くの被害者とその家族、支援者たちの苦難と勇気の物語でした。

「めぐみへの誓い」を上映して家族の絆・人と人とのつながりなど様々な問題を映画を通して考える機会となり、お互いが自分に置き換えながら学習する事ができました。



人権講演会 『東日本大震災に学ぶ』

～さて、あなたならどうする～

(河原人権福祉センター共催) 7/8 (土) 参加者 25名

高田啓一さん(元鳥取聾学校写真部顧問・フォトマスターEX)を講師にお迎えし、人権講演会を開催しました。東日本大震災後、被災地に6回足を運ばれ、被災者の方たちに話を聞かれたそうです。その内容をお話されました。

健全者・障がい者・お年寄りいろいろな人がいる中で、水害で避難する際、その人の立場に立った時、はたして自分ならどう行動したでしょうか?と考えさせられる内容のお話でした。



講師：高田啓一さん



人権視察研修

くたにはちまんじんじゃ しょうこんひ

岩美荒金鉱山跡と久谷八幡神社『招魂碑』

10/25 (水) 参加者 18名



講師：中村 勝彦さん



今年度の人権視察研修は、岩美荒金慰霊碑と鉱山跡地・久谷八幡神社の「招魂碑」を視察しました。

最初に岩美町の荒金公民館で中村勝彦さんの慰霊碑について説明後、鳥取大震災により犠牲になられた鉱山の職員・家族の方が祭られている慰霊碑に参加者の皆さんで線香をお供えしました。

その後、「旧岩美鉱山」を訪ね、実際に銅が採掘されていた鉱山の内部を見学しました。現在も流れ続けている汚染水を中和し、環境改善に努めている旧岩美鉱山廃水処理事業も見学しました。職員さんの解説はとてもわかりやすく、歴史や環境問題について知ることができました。午後からは久谷八幡神社の入り口にある「招魂碑」もお参りし、研修を終了しました。

国際交流事業 世界の料理教室『中国編』
2/8 (木) 参加者 8名



2月8日(木)に鳥取市国際交流員の烏雲夫(うーゆんぷ)さんを講師に迎え、中国料理教室を行いました。今年度は、ばらの花焼き餃子・きゅうりとりんごの甘酢和え・トマトとたまごスープを教えてくださいました。

参加された方々は作った料理を食べながら、中国の生活や文化などについてのお話を聴き、先生との交流をはかりました。



河原地区公民館DVD在庫一覧表

DVDの貸し出しをいたしますので、使用されたい方(部落)は公民館までご連絡をお願いいたします。

題名			
世界遺産シリーズ (アメリカ編・日本編・中国編・イタリア・フランス・スイス・スペイン・ギリシャ・北欧・エジプト)	わが母の記	アナと雪の女王	愛を積むひと
	東京家族	永遠の0	ペコロスの母に会いに行く
狐の呉れた赤ん坊	八日目の蝉	悲しみよりもっと悲しい物語	くちづけ
手紙	そして父になる	晴天の霹靂	荒野に希望の灯りをともす
アントキノイノチ	涙そうそう	海街diary	老後の資金がありません!
ツレがうつになりまして	それでもボクはやってない	くちびるに歌を	舞台劇 めぐみへの誓い

河原地区人権啓発推進員さんのご紹介

今年度は、森田 誠一さん・松岡 一さん(河原部落)・西田源良さん(下渡一木部落)・久保ひとみさん(袋河原部落)4名の方に地区の人権啓発推進員として活動していただいています。「人権を尊重した住み良い河原地区」を実現するため、鳥取市が主催する各種研修会へ出席、役員として小地域懇談会などの各種事業の企画等にかかわっていただいています。

